

廃棄物・リサイクル産業のビジネスモデルについて考えるフォーラム

実施結果について

栃木県環境森林部廃棄物対策課

1 取組の趣旨

廃棄物処理施設は、循環型社会の形成において必要不可欠な施設ですが、普段県民の皆さんが目にする機会が少ないこともあり、「迷惑施設」として捉えられることが多いのも事実です。

そこで、県と関係団体では、廃棄物処理施設に対する県民の理解促進を図るため、産業廃棄物処理業等を対象としたフォーラムを開催しました。

2 開催日

平成 28 年 3 月 1 日（火曜日）

3 会場

栃木県青年会館 大ホール
（宇都宮市駒生 1-1-6）

4 参加者

114 名



5 内容

(1) 講演

（テーマ）廃棄物は「地上資源」 ペットボトルは「都市油田」

（講師）協栄産業株式会社 代表取締役 古澤 栄一 氏

(2) 意見交換

6 概要講演

講演では、廃ペットボトルのリサイクル事業を始めるに至った経緯、「ボトル to ボトル」を実現した不純物を極限まで取り除くリサイクル技術の開発、国内リサイクルの高度化に向けた事業展開などについてお話いただきました。

意見交換では、事前に参加者から取りまとめた質問事項をもとに古澤社長に御回答いただき、地域住民との共生方法、社員教育の方法、今後の目標などについてお話いただきました。

参加者のアンケート結果では、約 9 割の参加者から、講演、事例発表いずれも「参考になった」又は「ある程度参考になった」との回答を頂きました。

廃棄物処理をめぐる合意形成に関するフォーラムアンケート結果

○有効アンケート回答数：58件

Q1 あなたの会社・事業所はどれに該当しますか？

①産廃収集運搬業者	②産廃処分業者	③排出事業者	④その他
14	15	7	26

※収集運搬業者、処分業者いずれにも該当する場合、処分業者としてカウントしました。

Q2 フォーラムに参加した目的は何ですか？

①講演内容に興味がある	②起業・事業拡大の参考とするため	③廃棄物・リサイクル産業への興味	④講師への関心	⑤その他
18	3	24	12	1

Q3 講演及び意見交換の内容はいかがでしたか？

	①大変参考になった	②ある程度参考になった	③あまり参考にならなかった	④全く参考にならなかった	⑤どちらともいえない	⑥無回答
講演	48	9	0	0	0	1
意見交換	36	14	0	0	1	7

Q4 栃木県内で廃棄物・リサイクル産業に関する起業又は事業拡大を行うに当たり、どのような課題があるとお考えですか？

- ・ 設備・人材などの初期投資に関わる金銭問題
- ・ 再生品の販売ルート of 安定的な確保 など

Q5 あなたは、BCP（事業継続計画）をご存知でしたか？

①よく知っている	②ある程度知っている	③聞いたことはある	④知らない	⑤無回答
9	10	14	19	6

Q6 貴社では、BCP（事業継続計画）を策定していますか？

①策定済み	②現在策定中	③策定していない	④わからない	⑤無回答
8	2	17	21	10